

戦後80年 阿多田交流館特別展

平生基地から出撃した 若者たち ～ 今、平和について考える ～

平生町には、太平洋戦争中『人間魚雷回天』・『特殊潜航艇「蛟龍」・「海龍」』の訓練基地がありました。

基地の跡地に建設された阿多田交流館では、当時の資料等を中心に展示するとともに、この歴史的事実を地域の変遷とともに伝えています。

戦後80年。阿多田交流館では、平生基地から出撃した回天搭乗員の遺品とともに、戦争の悲惨さを伝え、改めて平和について考えていただきたいという思いから、特別展を企画しました。



【阿多田地域の昔と今】

写真⑤ 昭和20年頃（訓練基地の様子）

写真⑥ 現在（阿多田交流館）

開催期間：2025年 **8月8日**（金）～ **9月21日**（日）
9：00～16：00 ※月曜日は休館です。

場 所：阿多田交流館

【内容】◆平生基地から出撃した搭乗員に関する資料・遺品展示

◆「人間魚雷回天」県内の訓練基地に関する資料展示 等

全国に4カ所つくられた訓練基地のうち、3カ所が山口県内にありました。
関連市町・施設の協力を得て、大津島・光基地の関連資料も展示します。

◎常設展示とあわせてご覧いただけます。（入館無料）

【問合せ】

阿多田交流館 ☎0820-56-1100

（平生町大字佐賀3900-14）

主催：阿多田交流館・平生町教育委員会

協力：周南市・周南市回天記念館・光市教育委員会（資料提供）



人間魚雷「回天」の関連遺構

「回天」は、大量の爆薬をのせた魚雷に人が乗り込んで操縦し、敵艦に体当たりする特攻兵器です。

全国に4カ所、周南市大津島・光・平生・大神（大分県）に基地がつくられました。基地には各地から20歳前後の若者が集まり、訓練をくりかえし、出撃していきました。

大津島には、全国で唯一、訓練基地跡が残っています。光には、海軍工場がありました。

また、周南市・光市では、空襲により多くの方が命を落とされました。

戦後80年。周南市・光市でも、平和な未来に向けてさまざまな取組が進められています。

【周南市の取組み】

戦後80年 想いをつなぐ、未来へ。

昭和100年 これからの周南

2025年5月1日（木）～12月26日（金）

期間を通じてさまざまなイベントが企画されています。

◆周南市戦後80年事業特設サイト

<https://www.city.shunan.lg.jp/site/sengo80/>



【光市の取組み】

戦後80年記念企画展

過去から未来へ ～平和への架け橋～

令和7年8月2日（土）～9月28日（日）

場所：光市文化センター

◆会期中、記念講演やギャラリートークを開催

また、「平和へのメッセージ」コーナーを設置

詳細は、右記の特設サイトをご覧ください。

